

中学校 第2学年 学級活動 授業案

平成27年7月15日(水) 第5校時

須崎市立浦ノ内中学校2年

場 所 2年教室

授業者

1 題材 労働と仕事 職場体験学習 ～自分らしく生きる～

＜内容 (3) 学業と進路 ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用、進路学習
「みらいスイッチ」の活用 ＞

2 題材観

(1) 生徒観

2年生は、元気で温かい雰囲気をもっている。日々の授業では、調べ学習や学習活動に積極的に取り組む傾向にある。またボランティア活動や地域の清掃活動等では真面目に取り組むことができている。しかし、労働観、職業観に根ざした自己の将来への「生き方や展望」を持つことのできていない生徒もいる。

(2) 題材設定の理由

本校では、キャリア教育の重点目標を「生徒自らが人間としての生き方、将来の自分の生き方への自覚、主体的に進路選択できる能力や態度を育成する」としてきた。そのために、地域人材の活用や体験活動と関連させながら各教科等で将来につながる学びを意識し推進を図っている。

本題材では、職場体験学習後の考察を深め、今後の学校生活に生かすためにメインテーマを「自分たちが社会人・職業人・地域人として自立する能力とは」として分野別グループ協議する。そして、生徒自身が課題に向かって協議を深め交流し、「社会人として必要な資質とは何か」「学校生活のなかで課題解決のためにどう努力していくのか」を中心課題として主体的に考える機会としたい。更に、全校集会で、職場体験や本時で学んだことを通して自分自身の生き方が伝えられるようにしたい。

(3) 授業のねらい

職場体験学習や「みらいスイッチ」をもとに社会に出て必要な力について話し合い、社会的・職業的自立のために大切なことを理解し、今後の学校生活に生かす。

3 学級活動 (3) 学業と進路の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心をもち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

4 授業の過程

(1) 事前学習

家庭学習で「みらいスイッチ」で自分が職業体験で関わる分野を読む。

(2) 本時の指導

① 本時のねらい 【思考・判断・表現】

- ・話し合いを通して得られたことを、まとめたり、発表したりすることを通して、社会的・職業的自立のために大切なことを理解し、学校生活に反映させて考えている。

② 展開

	学習活動	留意点	めざす生徒の姿 (評価方法)
導入	1 本時の学習課題を確かめる。 学習課題：私たちが社会に出て仕事をするうえで必要となる力は何か考えよう。		
展開	2 職場体験学習を振り返り、体験したこと、労働の共通点「感じたこと、苦勞、楽しさ、大変さ」を出し合う。 3 職業体験分野と「みらいスイッチ」から各分野に分かれて、かさなるところや工夫しているところや自分で創造できるところをグループで話し合う。 生産分野グループ P.10～17 経済分野グループ P.18～25 文化的分野グループ P.26～33 学術分野グループ P.34～41 社会分野グループ P.42～49 4 得られた気付きや発見をもとに社会に出て仕事をするうえで必要な力は何かをまとめ発表する。	・各自メモをとりながら聞き、自分にとって必要な力とその理由や学校生活との関連を考えさせる。 ・各自の分野に掲載されている人物のメッセージと職業観をもとに各グループで話し合いをし、自分の考えを深めたり広げたりすることができるようにする。 ・グループでの話し合いをもとに全体で話し合い、今の学びが将来につながっていることに気付かせる。 ・自分の考えを積極的に発表するとともに、そう考えた理由も述べるようにさせる。	
終末	5 本時の学習でとらえた力を今後の学校生活に生かすうえで、大切なことは何かを考える。	○将来の生き方に向かう努力 ○学校生活と進路 を視点として、生徒一人ひとりが、自らの生き方を考えるようにする。	◎今後の学校生活に生かすために自分のこととして考え、自己決定している。 ポートフォリオ(須崎市キャリアノート) 【思考・判断】

6 事後の活動

- 各自が自己の将来像を「2年次未来へのロードマップ」(P.8)として、まとめる。
- 「専門学校・専修学校」体験学習への導入とする。

【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】

進路ワークシート

2年 名前 []

家庭学習：保護者は仕事のことをどんなに思っているかインタビューしよう。

Q 1. 仕事していて大変なところはなんですか？

Q 2. 仕事をしていて楽しいときはどんなときですか？

Q 3. 自分にはどんな職業についてほしいですか？

1. 私がワクチャレで経験した職業は_____です。

2. 私が経験した職業分野は「みらいスイッチ」では_____分野グループです。

「みらいスイッチ」やワクチャレを通して話し合ったことをまとめてみよう。

- ・生産分野グループ P. 10～17
- ・経済分野グループ P. 18～25
- ・文化的分野グループ P. 26～33
- ・学術分野グループ P. 34～41
- ・社会分野グループ P. 42～49

3. 分野別グループでの発表を聞いて気づいたことをまとめよう。

①生産分野グループ

②経済分野グループ

③文化的分野グループ

④学術分野グループ

⑤社会分野グループ

4. 発表を通して仕事に対して思ったことをまとめましょう。